

徳島県におけるコルリアトキリゴミムシの初記録

辻 雄介¹・近藤英文¹

[Yusuke Tsuji¹ and Hidefumi Kondo¹: First Record of *Lebia viridis* Say, 1823 in Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan]

Abstract : An alien carabid beetle species, *Lebia viridis* Say, 1823 (Coleoptera: Carabidae), native to North America, was collected in Tokushima Prefecture, Japan. This is the first record of *L. viridis* in Tokushima Prefecture and the main island of the Shikoku region.

キーワード：外来種，オサムシ科，コウチュウ目，四国

コルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis* Say, 1823 は体長 5mm ほどのコウチュウ目オサムシ科の一種である（石谷，2008）．本種は北米原産の外来種であり（石谷，2008），国内では 1989 年に千葉県で初記録されて以降（中根，1989），北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国地方へと分布を拡げている（石谷，2008；山地，2019；藤本，2023）．四国地方からは，本報投稿時点（2023 年 10 月）で，離島の小豆島（香川県）の記録が知られるのみであり（藤本，2023），本土部からは未記録であった．

筆者らは，徳島県東みよし町において本種を採集したので，徳島県および四国地方本土部での初記録として以下に報告する．

【標本データ】

1ex. (図 1), 徳島県東みよし町東山 [Alt. 400 m] (図 2), 19.X.2023, 近藤英文採集.

【備考】

採集地は東みよし町の市街地から外れた法市集落内の草地で，ランダムなスウィーピングによって採集された．標本は乾燥標本とし，徳島県立博物館（Tokushima Prefectural Museum: TKPM）へ収蔵されている．

本調査では成虫 1 個体のみしか採集されておらず，現時点では当地に定着しているかは不明であり，継続的な調査や観察が望まれる．

本種は長距離輸送のトラックなどに付着しての移動によって分布を拡大させている可能性が指摘されているが（下野谷，2004），法市集落は住民 10 数名程度の小規模な山間集落であり（徳島剣山世界農業遺産推進協議会，2020），



図 1. 徳島県で採集されたコルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis*. スケールバー：1.0 mm.

本種がヒトの移動や物流に付随するなどして当地へ人為的に移入された可能性は低いと考えられる.. したがって，自力で飛翔や歩行によって当地へ侵入した可能性がある．その場合，既に他地域へも侵入していることが推測されるため，今後は徳島県内および四国地方での分布状況についての調査が必要と思われる．

本種は原産地である北米において，コウチュウ目ハムシ科の *Altica* 属（カミリハムシ属）に外部寄生する生態

2023 年 11 月 7 日受付，12 月 3 日受理.

¹ 株式会社相愛 自然環境調査課 〒 780-0002 高知県高知市重倉 266-2 Soai Co., Ltd., Shigekura 266-2, Kochi City, 780-0002, Japan.

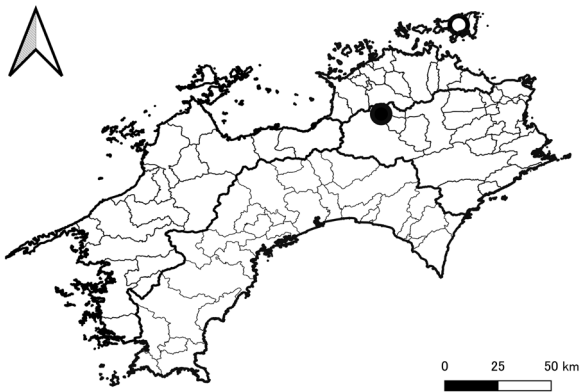


図2. 四国地方におけるコルリアトキリゴミムシの分布。(●: 本報で記録した産地, ○: 既知産地)

が知られている。日本国内にも *Altica* 属は 15 種分布しており、吉田・初宿 (2009) はヒメカミナリハムシ *Altica caerulescens* (Baly, 1874), 新井 (2019) はアカバナカミナリハムシ *Altica oleracea* (Linnaeus, 1758) へ本種が寄生する可能性を示唆している。在来種への寄生や捕食によって、本種が定着地で在来生態系に負の影響を与えることも考えられるため、今後の動向には注視していきたい。

謝辞

本標本は、世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」生物多様性調査業務に係る現地調査によって得られたものである。公表について承諾をいただいた徳島剣山世界農業遺産推進協議会、調査の機会を設けていただき本文をご確認いただいた NPO 法人 四国自然史科学研究センターの山田孝樹氏、文献を恵与いただいた石谷正宇氏と藤本博文氏、標本写真を撮影いただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥氏に厚くお礼を申し上げる。

引用文献

- 新井浩二. 2019. コルリアトキリゴミムシをアカバナカミナリハムシの集団より多数採集. さやばねニューシリーズ, (36): 78–79.
- 藤本博文. 2023. コルリアトキリゴミムシを小豆島で採集. 月刊むし, (625): 39–40.
- 石谷正宇. 2008. コルリアトキリゴミムシの生態(甲虫目: オサムシ科). 昆虫と自然, 43 (12): 24–26.
- 中根猛彦. 1989. 移入種と思われるアトキリゴミムシの記

録. 昆虫と自然, 24 (8): 33.

下野谷豊一. 2004. 外来種 2 種を含む福井県産甲虫の分布記録. 福井市自然史博物館研究報告, (51): 31–35.

徳島剣山世界農業遺産推進協議会. 2020. 「農業遺産ひとつひとつ手作業で作る干し芋」. <https://giahs-tokushima.jp/interview/hoichinohoshiimo>. 2023 年 10 月 26 日閲覧.

山地 治. 2019. 岡山県から採集した甲虫類の記録と訂正. すすむし, (154): 19–23.